



Espacenet

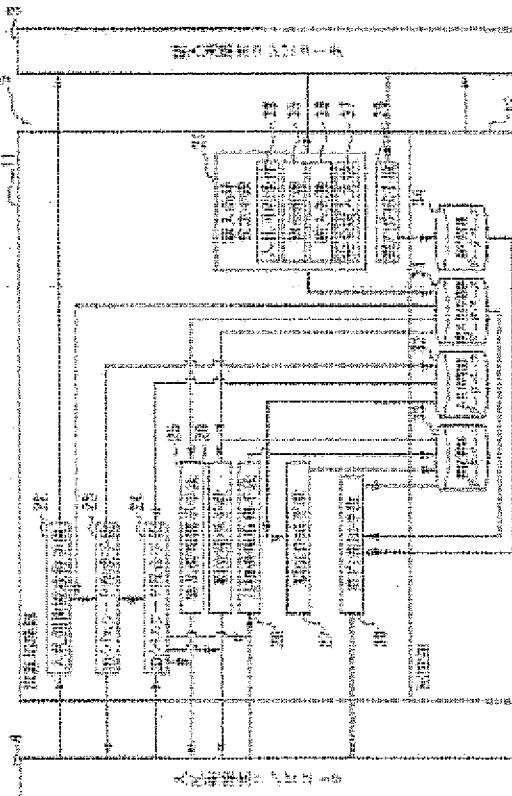
Bibliographic data: JP 2003271848 (A)

DISCLOSURE ESTIMATION DEVICE, SYSTEM THEREFOR, METHOD THEREFOR, PROGRAM AND RECORDING MEDIUM WITH THE PROGRAM RECORDED THEREON

Publication date: 2003-09-26
Inventor(s): YAMADA SHIGEO; HIRATA HITOSHI; KATONO AKIRA ±
Applicant(s): IDEMITSU PETROCHEMICAL CO ±
Classification:
 - international: G06Q10/00; G06Q30/00; (IPC1-7): G06F17/60
 - European:
Application number: JP20020076310 20020319
Priority number(s): JP20020076310 20020319

Abstract of JP 2003271848 (A)

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a disclosure estimation system which can further decrease successful bidding estimated amount ;
SOLUTION: The estimated amount bidding side which inputs bidding side information, acquires an ID number and a password, and acquires a bidding qualification, bids the estimated amount on a disclosure estimation window using an Web browser. A server device 5 which acquires the estimated amount sets order. When the estimated amount that the estimated amount bidding side bid is a higher estimated amount than the order corresponding to the number of purchase point based on the number of purchase point and the number of safe purchase point that a purchase side sets beforehand, a message which urges the re-bidding of the less estimated amount is reported to the estimated amount bidding side. When the estimated amount is cheaper than the order corresponding to the number of purchase point and is higher than the order corresponding to the number of safe purchase point, a message that the purchase point may exclude the object is notified to the estimated amount bidding side. The estimated amount bidding side can not know the lowest price, so the estimated amount can be reduced. ;
COPYRIGHT: (C)2003,JPO



Last updated:
 04.04.2011 Worldwide
 Database 5.7.20; 92p

(19) 日本国特許庁 (JP)

(10) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出版公報番号

特開2003-271848

(P2003-271848A)

(40) 公開日 平成15年9月26日 (2003.9.26)

(61) Int CL

G 06 F 17/60

類別記号

3 1 6

3 1 8

5 0 4

F I

G 06 F 17/60

F-72-17(参考)

3 1 6

3 1 8 A

5 0 4

審査請求 未請求 請求項の数10 OL (全 18 EO)

(21) 出願番号

特開2002-76310(P2002-76310)

(22) 出願日

平成14年3月19日 (2002.3.19)

(71) 出願人

000183607
出光石油化学株式会社
東京都墨田区横網一丁目6番1号

(72) 発明者

山田 重雄
東京都墨田区横網一丁目6番1号

(73) 発明者

平田 仁志
東京都墨田区横網一丁目6番1号

(74) 発明者

上遠野 聰
東京都墨田区横網一丁目6番1号

(74) 代理人

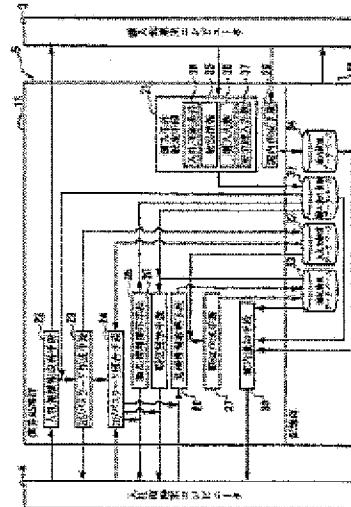
100079083
弁理士 木下 賢三 (外2名)

(54) 【発明の名称】 公開見積接続、そのシステム、その方法、そのプログラムおよびそのプログラムを記録した記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 落札見積額をさらに低減できる公開見積システムを提供する。

【解決手段】 入札側情報を入力してIDナンバおよびパスワードを取得して入札資格を取得した見積額入札側は、ウェブブラウザによる公開見積ウィンドウで見積額を入力する。見積額を取得したサーバ装置では順位を設定する。購入側があらかじめ設定した購入先数、安全購入先数に基づいて、見積額入札側が入力した見積額が購入先数に対応する順位より高い見積額の場合、見積額入札側にさらに小さい見積額の再入札を促すメッセージを通知する。購入先数に対応する順位より安いが安全購入先数に対応する順位より高い見積額の場合、見積額入札側に購入先の対象だが対象外となるおそらくある旨のメッセージを通知する制御をする。見積額入札側は最安値を知り得ず、見積額の低減を図ることができる。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 購入物品を公表し前記購入物品に対する見積額に関する見積情報に基づいて購入先を設定するための公開見積装置であって、前記購入物品に関する物品情報を開示する物品情報開示手段と、前記見積額を提示する見積額入札側から入力される前記見積情報を取得する見積情報取得手段と、この見積情報取得手段にて取得した見積情報の見積額を比較し見積額が小さい順番となる前記見積額入札側の順位に関する順位情報を作成する順位作成手段と、見積額が最も小さい順番から前記見積額入札側を購入先として設定するための購入先の数を設定する購入先数設定手段と、この購入先数設定手段にて設定される購入先の数に対応する順番の見積額より高い見積額の順番となる前記見積額入札側に対して、見積額の小さい見積情報を再入力を促す案内を通知する案内通知手段と、を具備したことを特徴とした公開見積装置。

【請求項 2】 請求項 1に記載の公開見積装置において、

購入先数設定手段により設定される購入先の数より少ない数を設定する安全購入先数設定手段を具備し、案内通知手段は、購入先数設定手段にて設定される購入先の数に対応する順番より低く、かつ前記安全購入先数設定手段にて設定される購入先の数に対応する順番の見積額より高い見積額の順番となる見積額入札側に対し、購入先の対象外となるおそれがある旨の案内を通知することを特徴とした公開見積装置。

【請求項 3】 請求項 1または 2に記載の公開見積装置において、

順位作成手段により作成した順位情報を開示する順位開示手段を具備したことを特徴とした公開見積装置。

【請求項 4】 請求項 3に記載の公開見積装置において、

順位開示手段は、見積額入札側の自己の順位のみ開示することを特徴とした公開見積装置。

【請求項 5】 請求項 1ないし 4のいずれかに記載の公開見積装置において、

見積額入札側の競買物品の提供能力に関する情報を取得する入札側情報取得手段を具備し、

見積情報取得手段は、前記入札側情報にて取得した前記競買物品の提供能力に関する情報の入力がある見積額入札側から入力される見積情報をのみ取得することを特徴とした公開見積装置。

【請求項 6】 請求項 5に記載の公開見積装置において、

見積情報取得手段が見積情報を取得可能とする見積額入札側を設定する入札可能条件設定手段を具備し、物品情報開示手段は、前記入札可能条件設定手段にて設

定される見積額入札側に対してのみ物品情報を開示することを特徴とした公開見積装置。

【請求項 7】 請求項 1ないし 6に記載の公開見積装置と、

この公開見積装置にネットワークを介して送受信可能に接続される端末装置と、

を具備したことを特徴とした公開見積システム。

【請求項 8】 コンピュータを用いて購入物品を公表し前記購入物品に対する見積額に関する見積情報を基づいて購入先を設定する公開見積方法であって、

前記購入物品に関する物品情報を開示させ、この開示される物品情報を基づいて見積額を提示する見積額入札側から入力される見積情報を取得し、

この取得した見積情報の見積額を比較して見積額が小さい順番となる前記見積額入札側の順位に関する順位情報を作成し、

見積額が最も小さい順番から前記見積額入札側を購入先として設定するための購入先の数に対応する順位の見積額より高い見積額の順番となる前記見積額入札側に対して、見積額の小さい見積情報を再入力を促す案内を通知することを特徴とする公開見積方法。

【請求項 9】 請求項 8に記載の公開見積方法をコンピュータに実行させることを特徴とした公開見積プログラム。

【請求項 10】 請求項 9に記載の公開見積プログラムをコンピュータに読み取る可能に記録することを特徴とした公開見積プログラムを記録した記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、購入物品を公表し購入物品に対する見積額に関する見積情報を基づいて購入先を設定するための公開見積装置、そのシステム、その方法、そのプログラムおよびそのプログラムを記録した記録媒体に関する。

【0002】

【背景技術】 従来、上記公開見積をする構成として、例えば特開 2001-250017 号公報に記載の構成が知られている。

【0003】 この特開 2001-250017 号公報に記載のものは、複数の見積額入札側からネットワークを介して見積額に関する見積情報を受信し、受信した見積情報を基づいて見積額を評価して各見積額入札側間での入札順位が変動すると、ネットワークを介して見積額入札側に入札順位が変動したことを通知する。また、見積額入札側に入札状況を開示し、所定の回数内であれば、見積額入札側からの見積情報を再取得を許可する構成が挙げられている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上記特開 2001-250017 号公報に記載の従来の構成で

は、見積額入札側は最も小さい見積額を認識できるので、落札までにある程度の期間が合ったとしても、初めに提示された最も安い見積額が基準となり、見積額の再入力が初めに提示された見積額からあまり変動しないおそれがある。このため、実際に落札する額のさらなる低減が望めないおそれがある。

【0005】本発明は、このような点に鑑みて、落札する見積額のさらなる低減が図れる公開見積装置、そのシステム、その方法、そのプログラムおよびそのプログラムを記録した記録媒体を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】請求項1に記載の発明は、購入物品を公表し前記購入物品に対する見積額に関する見積情報に基づいて購入先を設定するための公開見積装置であって、前記購入物品に関する物品情報を開示する物品情報開示手段と、前記見積額を提示する見積額入札側から入力される前記見積情報を取得する見積情報取得手段と、この見積情報取得手段にて取得した見積情報の見積額を比較し見積額が小さい順番となる前記見積額入札側の順位に関する順位情報を作成する順位作成手段と、見積額が最も小さい順番から前記見積額入札側を購入先として設定するための購入先の数を設定する購入先数設定手段と、この購入先数設定手段にて設定される購入先の数に対応する順番の見積額より高い見積額の順番となる前記見積額入札側に対して、見積額の小さい見積情報の再入力を促す案内を通知する案内通知手段と、を具備したことを持続とした公開見積装置である。

【0007】この発明では、物品情報開示手段にて購入物品に関する物品情報を開示し、見積情報取得手段にて見積額を提示する見積額入札側から入力される見積額に関する見積情報を取得し、順位作成手段にて取得した見積情報の見積額を比較して見積額が小さい順番となる見積額入札側の順位に関する順位情報を作成する。そして、購入先数設定手段にて見積額が最も小さい順番から見積額入札側を購入先として設定するための購入先の数に対応する順番の見積額より高い見積額の順番となる見積額入札側に対して、案内通知手段により見積額の小さい見積情報の再入力を促す案内を通知する。このことにより、見積額入札側は、最も安い見積額を知り得ることなく、単にさらに小さい見積額の見積情報を再入力を促す案内のみで、どの程度小さい見積額に設定すればよいか判断できないので、見積額入札側としては可能な限り安い見積額の見積情報を再入力することとなり、最終的な落札時の見積額の低減が図れる。

【0008】請求項2に記載の発明は、請求項1に記載の公開見積装置において、購入先数設定手段により設定される購入先の数より少ない数を設定する安全購入先数設定手段を具備し、案内通知手段は、購入先数設定手段にて設定される購入先の数に対応する順番より低く、か

つ前記安全購入先数設定手段にて設定される購入先の数に対応する順番の見積額より高い見積額の順番となる見積額入札側に対して、購入先の対象外となるおそれがある旨の案内を通知することを持続とする。

【0009】この発明では、案内通知手段により、購入先数設定手段にて設定される購入先の数に対応する順番の見積額より小さく、かつ、購入先数設定手段にて設定される購入先の数より少ない数を設定する安全購入先数設定手段にて設定される購入先の数に対応する順番の見積額より高い見積額の順番となる見積額入札側に対し、購入先の対象外となるおそれがある旨の案内を通知することにより、購入先の数に対応する順番の見積額よりも小さく、購入先の対象となり得る見積額入札側でも、通知により今後の入札状況に応じて購入先の対象外となるおそれがあることが認識され、入れられる見積額のさらなる低減が図れる。

【0010】請求項3に記載の発明は、請求項1または2に記載の公開見積装置において、順位作成手段により作成した順位情報を開示する順位開示手段を具備したことを持続とする。

【0011】この発明では、順位開示手段により、順位作成手段にて作成した順位情報を開示する。このことにより、見積額入札側は自己の見積額の順位が認識可能となり、特に購入先の数の境界近傍の順位の見積額入札側からさらに見積額が低い見積情報の再入力の活性化が期待でき、より見積額の低減が望める。

【0012】請求項4に記載の発明は、請求項3に記載の公開見積装置において、順位開示手段は、見積額入札側の自己の順位のみ開示することを持続とする。

【0013】この発明では、順位開示手段は、見積額入札側自身の自己の順位のみ開示する。このことにより、他の見積額入札側が不明で、開示される入札状況の情報が少ないので、再入力される見積情報を見積額として、見積額入札側が可能な限り安い見積額を提示する傾向が強まり、より見積額の低減が望める。

【0014】請求項5に記載の発明は、請求項1ないし4のいずれかに記載の公開見積装置において、見積額入札側の購買物品の提供能力に関する情報を取得する入札側情報取得手段を具備し、見積情報取得手段は、前記入札側情報取得手段にて取得した前記購買物品の提供能力に関する情報の入力がある見積額入札側から入力される見積情報のみを取得することを持続とする。

【0015】この発明では、見積情報取得手段により、入札側情報取得手段にて取得した見積額入札側の購買物品の提供能力に関する情報の入力がある見積額入札側から入力される見積情報をのみを取得する。このことにより、例えば見積額が低くても購買物品の提供能力がない購入先から購入物品を購入することにより購入物品の確保ができないなどの不都合を防止し、安定した品質の購入物品が安定して確保可能となる。

【00016】請求項6に記載の発明は、請求項5に記載の公開見積装置において、見積情報取得手段が見積情報を取得可能とする見積額入札側を設定する入札可能条件設定手段を具备し、物品情報開示手段は、前記入札可能条件設定手段にて設定される見積額入札側に対してのみ物品情報を開示することを特徴とする。

【00017】この発明では、入札可能条件設定手段にて設定される見積情報入札側に対してのみ物品情報開示手段にて物品情報を開示する。このことにより、例えば入札側情報取得手段にて取得した見積額入札側の購買物品の提供能力に関する情報に基づいて、良好な購買物品を安定して安価に確保するための購入先の対象となり得る見積額入札側のみが設定可能となり、安定した取引が容易に得られる。

【00018】請求項7に記載の発明は、請求項1ないし6に記載の公開見積装置と、この公開見積装置にネットワークを介して送受信可能に接続される端末装置と、を具备したことを特徴とした公開見積システムである。

【00019】この発明では、最終的な落札時の見積額の低減が図れる請求項1ないし6に記載の公開見積装置に、ネットワークを介して送受信可能に端末装置を接続する。このことにより、ネットワークの利用により、より安い見積額の取得が容易で、利便性が向上し、利用の拡大が容易に図れる。

【00020】請求項8に記載の発明は、請求項1に記載の公開見積装置を、公開見積方法に展開したもので、前記購入物品に関する物品情報を開示させ、この開示される物品情報を基づいて見積額を提示する見積額入札側から入力される見積情報を取得し、この取得した見積情報をの見積額を比較して見積額が小さい順番となる前記見積額入札側の順位に関する順位情報を作成し、見積額が最も小さい順番から前記見積額入札側を購入先として設定するための購入先の数に対応する順番の見積額より高い見積額の順番となる前記見積額入札側に対して、見積額の小さい見積情報を再入力を促す案内を通知することを特徴とする。このことにより、請求項1に記載の発明と同様の作用効果を享受できる。

【00021】請求項9に記載の発明は、請求項8に記載の公開見積方法をコンピュータに実行させることを特徴とする公開見積プログラムである。

【00022】請求項10に記載の発明は、請求項9に記載の公開見積プログラムがコンピュータにて読み可能に記録されたことを特徴とした公開見積プログラムを記録した記録媒体である。

【00023】この発明では、請求項8に記載の公開見積方法を実行させるための請求項9に記載の公開見積プログラムを記録媒体に記録させており、公開見積プログラムの取扱が容易で、本発明の利用促進を大幅に図ることができる。

【00024】なお、請求項8に記載の発明、請求項9に

記載の発明および請求項10に記載の発明において、コンピュータは、1つに限らず、例えば複数のコンピュータをネットワーク状に組み合わせた構成や、マイクロコンピュータなどの系子、あるいは複数の電子部品が搭載された回路基板などをも含む。

【00025】

【発明の実施の形態】以下、本発明の一実施の形態を図面に基づいて説明する。

【00026】(公開見積システムの全体構成)図1は、本実施の形態における本発明の公開見積装置に係る公開見積システムの概略構成を示すブロック図である。図2は、公開見積システムのサーバ装置の概略構成を示すブロック図である。

【00027】図1において、1は公開見積装置としての公開見積システムで、この公開見積システム1は、例えば材料や部品などの資材である購買物品を購入するため、見積額の入札を電子取引上で広く取得するためのシステムである。そして、この公開見積システム1は、ネットワーク2と、購買物品を購入する購入側端末コンピュータ3と、見積額を入札する端末装置としての入札側端末コンピュータ4と、公開見積装置としてのサーバ装置5と、を備えている。

【00028】ネットワーク2は、例えばTCP/IP(Transmission_Control_Protocol/Internet_Protocol)などの汎用のプロトコルに基づくインターネットやインターネットなどとして構成される。このネットワーク2には、購入側端末コンピュータ3と、入札側端末コンピュータ4と、サーバ装置5とが接続されている。

【00029】購入側端末コンピュータ3は、例えば購買物品に関する物品情報を開示して購買物品を購入する購入側に設置された汎用のコンピュータで、購入側コンピュータ本体3a、図示しない購入側入力装置、購入側表示装置3bなどを備えている。

【00030】入札側端末コンピュータ4は、例えば見積額を入札する見積額入札側に設置された汎用のコンピュータで、入札側コンピュータ本体4a、図示しない入札側入力装置、入札側表示装置4bなどを備えている。なお、携帯電話あるいはPHS(Personal Handyphone System)などの携帯端末などでもよい。

【00031】そして、これら購入側端末コンピュータ3および入札側端末コンピュータ4は、ネットワーク2であるインターネット上でホームページなどを閲覧するためのブラウザソフトや電子メールソフトなどがインストールされ、ネットワーク2を介して各種情報を送受信可能となっている。

【00032】サーバ装置は、例えばネットワーク2に接続されるWWW(World Wide Web)サーバとして構成される。そして、サーバ装置5は、システム本体部5aに接続されるキーボードやマウスなどの図示しないシステム入力部と、ディスプレ

イなどのシステム表示部 5 b を備え、ネットワーク 2 を介して購入側端末コンピュータ 3 および入札側端末コンピュータ 4 に接続し、各種情報を送受信可能となっている。

【0033】サーバ装置 5 のシステム本体部 5 a は、図 2 に示すように、種々のプログラムを実行する演算処理部 11 と、送受信される情報を記憶するハードディスクや磁気ディスク、光ディスクなどの記憶手段としての記憶部 12 と、を備えている。

【0034】システム本体部 5 a の演算処理部 11 は、図 2 に示すように、演算処理部 11 を含むサーバ装置 5 全体の動作制御を行う OS (Operating System) 上に展開されるプログラムとしての、購入条件設定手段 2 1 と、入札側情報取得手段 2 2 と、ID/パスワード作成手段 2 3 と、ID/パスワード照合手段 2 4 と、物品情報表示手段 2 5 と、見積情報取得手段 2 6 と、順位作成手段 2 7 と、順位開示手段 2 8 と、案内作成手段 2 9 と、案内通知手段 3 0 と、を備えている。

【0035】システム本体部 5 a の記憶部 12 は、購入条件情報データベース 3 1 と、入札側情報データベース 3 2 と、順位情報データベース 3 3 と、案内情報データベース 3 4 と、を備えている。なお、記憶部 12 は、図示しないが、これらデータベース 3 1 ～ 3 4 の他に、上記演算処理部 11 の各手段 2 1 ～ 3 0 および OS を含むプログラムを記憶する領域などをも備えている。

【0036】購入条件設定手段 2 1 は、購入側端末コンピュータ 3 の購入側入力装置の入力操作により、購入物品を購入する購入条件に関する購入条件情報を設定する。そして、この購入条件設定手段 2 1 は、図 2 に示すように、物品情報設定手段 3 5 と、購入先設定手段 3 5 と、安全購入先設定手段 3 7 と、入札可能条件設定手段 3 8 と、を備えている。

【0037】物品情報設定手段 3 5 は、購入側端末コンピュータ 3 の購入側入力装置の入力操作により、購入物品に関する物品情報を設定する。すなわち、物品情報設定手段 3 5 は、購入側表示装置 3 b に表示されるウェブブラウザ (Web browser) による表示画面で示される物品情報を設定入力するための物品情報入力ウインドにおいて、このウインドの入力を促す表示に基づいて入力操作された内容をネットワーク 2 を介して送信される物品情報として取得することにより設定する。この物品情報としては、例えば物品の名称、化学物質の場合には化学名や物質名と当該者間で一般的に称呼される代表的な名称 (商品名)、品質や形状、規格などの性状、納入先、荷姿、数量などである。そして、設定入力された物品情報は、購入条件情報として記憶部 12 の購入条件情報データベース 3 1 に出力されて格納される。

【0038】購入先設定手段 3 5 は、購入側端末コンピュータ 3 の購入側入力装置の入力操作により、購入する購入先の数についても、

ウェブブラウザによる表示画面におけるウィンドの入力を促す表示に基づいて入力操作により設定される。そして、この設定入力された購入先の数は、購入条件情報として購入条件情報データベース 3 1 に出力されて格納される。

【0039】安全購入先設定手段 3 7 は、購入側端末コンピュータ 3 の購入側入力装置の入力操作により、購入先設定手段 3 6 にて設定される購入先の数より少ない数。すなわち購入先の数内で見積額の上位の数を設定する。具体的には、購入先の数が 3 社とした場合、「3」と設定されることにより、上位 3 社が安全圏内である旨の安全購入先の数となる。そして、この安全購入先の数も、ウェブブラウザによる表示画面のウィンドにおける入力を促す表示に基づいて設定され、購入条件情報データベース 3 1 に出力されて格納される。

【0040】入札可能条件設定手段 3 8 は、後述する見積情報取得手段 2 6 が見積情報を取得可能とする見積額入札側を設定する。すなわち、公開見積に参加できる入札資格として、後述する ID/パスワード作成手段 2 3 により ID ナンバおよびパスワードを作成して見積額入札側に付与する見積額入札側を設定する。そして、この設定した入札可能条件は、購入条件情報データベース 3 1 に出力されて格納される。

【0041】購入条件設定手段 2 1 は、その他、見積額の入札の締め切り日である公募締切日、見積額入札側に開示する入札状況を示す入札状況開示条件など、各種購入条件の項目を設定し、購入条件情報を作成して購入条件情報データベース 3 1 に出力させて格納させる。

【0042】入札側情報取得手段 2 2 は、入札側端末コンピュータ 4 の入札側入力装置の入力操作により、見積額を入札する見積額入札側に関する入札側情報を設定する。すなわち、入札側情報取得手段 2 2 は、入札側表示装置 4 b に表示されるウェブブラウザによる表示画面で示される情報を設定入力するための入札側情報入力ウインドにおいて、このウインドの入力を促す表示に基づいて入力操作された内容をネットワーク 2 を介して送信される入札側情報として取得する。この入札側情報としては、例えば見積額入札側の名称、住所、連絡先、購入物品の提供能力 (生産・製造など) に関する諸事など、見積額入札側に関する固有の情報である。そして、設定入力された入札側情報は、購入側端末コンピュータ 3 にネットワーク 2 を介して出力されるとともに、入札側情報として記憶部 12 の入札側情報データベース 3 2 に出力されて格納される。

【0043】ID/パスワード作成手段 2 3 は、入札側情報取得手段 2 2 で取得した入札側情報を基づいて、購入側端末コンピュータ 3 の購入側入力装置による許諾する旨の入力操作、すなわち入札可能条件設定手段 3 8 にて公開見積の入札資格を付与する旨の設定により、見積額入札側に対応した固有の ID ナンバおよびパスワード

を作成する。そして、ID/パスワード作成手段23は、これらIDナンバおよびパスワードを入札側情報と関連付けして入札側情報とし、入札側情報データベース32に出力して格納する。

【0044】ID/パスワード照合手段24は、入札側端末コンピュータ4の入札側入力装置の入力操作により入力されたIDナンバおよびパスワードを取得し、入札側情報データベース32に格納された入札側情報と照合し、正規か否かを判断する。

【0045】物品情報開示手段25は、購入条件情報データベース31に格納された物品情報を含む購入条件情報を入札側端末コンピュータ4にネットワーク2を介して出力させる。なお、この購入条件情報は、ID/パスワード照合手段にてIDナンバおよびパスワードが正規であることを判断した場合に出力される。

【0046】見積情報取得手段26は、入札側端末コンピュータ4の入札側入力装置の入力操作により、見積額に関する見積情報を設定する。すなわち、見積情報取得手段26は、ウェブブラウザによる表示画面で示される情報を設定入力するための見積情報入力ウインドにおいて、このウインドの入力を促す表示に基づいて入力操作された内容をネットワーク2を介して送信される見積情報をとして取得する。そして、設定入力された見積情報は、記憶部12の順位情報データベース33に格納される。なお、この見積情報取得手段26は、ID/パスワード照合手段24にてIDナンバおよびパスワードが正規であることを判断した場合に見積情報を取得可能となる。すなわち、正規であると判断した場合のみ、入札側端末コンピュータ4が見積情報入力ウインドにアクセス可能となり、見積情報を設定入力可能となる。

【0047】順位作成手段27は、見積情報取得手段26にて取得した見積情報をに基づいて、見積額入札側の見積額の順位に関する順位情報を作成する。この順位情報は、見積額入札側の提示された見積額を比較し、見積額が小さい見積額入札側の順番である。すなわち、順位作成手段27は、IDナンバおよびパスワードに基づいて入札側情報データベース32に格納された入札側情報と取得した見積情報をと関連付けて、順位情報を作成する。そして、この作成された順位情報は、記憶部の順位情報データベース33に出力されて格納される。

【0048】また、順位作成手段27は、順位情報に基づいて、適宜グラフを作成する。グラフは、後述するように、例えば横軸を日付、縦軸を順位や見積額として見積額入札側の日付による順位や見積額が変位する状況を示すものである。

【0049】順位開示手段28は、入札側端末コンピュータ4の入札側入力装置の要求する旨の入力操作により、順位情報データベース33に格納された順位情報を、入札側端末コンピュータ4に出力する。なお、この順位情報の開示は、ID/パスワード照合手段24にて

IDナンバおよびパスワードが正規であることを判断し、アクセスするIDナンバおよびパスワードに対応する見積額入札側の自己の順位のみ開示させる。

【0050】案内作成手段29は、購入側端末コンピュータ3の購入側入力装置の入力操作により、見積額入札側に通知する案内を作成する。この通知する案内は、入札された見積情報を基づく順位に対応し入札した見積額より小さい見積額の見積情報を再入力するように促す案内で、後述するように、例えば順番に対応した2つの案内が作成される。そして、作成された案内は、案内情報データベース34に出力されて格納される。

【0051】ここで、案内の具体例として、本実施の形態では、以下のように例示する。メッセージ1としては、2番目に安い見積額の見積額入札側から、安全購入先の数に対応する順番の見積額入札側までに通知する案内で、「案内であるが表位ではない旨である。メッセージ2としては、購入先の数に対応する順番の見積額より高い見積額の見積額入札側に通知する案内で、「国外であり、現状では取引できない可能性が高い」旨である。なお、見積額が最も安い見積額入札側に通知するメッセージはない。

【0052】案内通知手段30は、案内情報データベース34に格納された案内を見積額入札側に通知する。この通知は、順位開示手段28にて順位情報を表示する際に適宜通知される。なお、順位情報とは別に、案内のみを通知する構成としてもよい。

【0053】記憶部12の購入条件情報データベース31は、購入条件設定手段21にて設定された物品情報を含む購入条件の各項目を1つのレコードとして記録するテーブル構造のデータベースとして構成される。

【0054】入札側情報データベース32は、入札側情報取得手段26にて取得した入札側情報、すなわち、入札側端末コンピュータ4で入力された見積額入札側に関する固有の情報の各項目を1つのレコードとして記録するテーブル構造のデータベースとして構成される。なお、このテーブル構造には、各見積額入札側に対応して作成されたIDナンバおよびパスワードが関連付けられて1つのレコードとして記録される。

【0055】順位情報データベース33は、見積情報取得手段26で取得した見積情報を、順位作成手段27にて見積情報を入札側情報が関連付けされて順位を設定して作成された順位情報を書き換え可能に記録する。また、順位情報データベース33は、グラフに関する情報を記録する。

【0056】案内情報データベース34は、案内作成手段29にて作成された案内を書き換え可能に記録する。

【0057】そして、記憶部12に記録された情報は、購入側端末コンピュータ3の購入側入力装置における開示要求の入力操作により、適宜購入側端末コンピュータ3にネットワーク2を介して送信可能となっている。

【0058】【公開見稿システムの動作】次に、上記一実施の形態の公開見稿システム1の動作について図面を参照して説明する。

【0059】(見稿額入札側の入札資格の付与)まず、公開見稿システム1における見稿額入札側に入札資格を付与する動作について図面を参照して説明する。図3は、購入側のホームページのホームの画面表示を示す説明図である。図4は、調達情報のタグウインドの画面表示を示す説明図である。図5は、購入条件を設定入力する調達情報ウインドの画面表示を示す説明図である。図6は、公募リストのウインドの画面表示を示す説明図である。図7は、公募品詳細ウインドの画面表示を示す説明図である。図8は、入札側情報を入力する応募シートウインドの画面表示を示す説明図である。図9は、見稿額入札側に入札資格を付与する動作を示すフローチャートである。図10は、入札側情報ウインド47の画面表示を示す説明図である。

【0060】購入物品の購入のために公開見稿を実施する購入側は、購入側端末コンピュータ3を用いて、公開見稿を実施する旨を表示する。具体的には、図3に示すように、ウェブブラウザ(web browser)による表示画面で示されるホームページ41に開示される。このホームページ41は、図3に示すように、購入側の情報を表示するホーム、製品情報、技術情報、調達情報、採用情報、会社情報、問い合わせ、サイトマップなどの複数のページ(ウインド)が切替可能に対応する複数のタグ41a～41hを備えている。公開見稿を実施する旨の案内は、図4に示すような調達情報のタグウインド42に開示される。さらに、購入側は、過去に購入先として取り引きした取引先に公開見稿を実施する旨の案内をメールにより配信する設定をする。

【0061】すなわち、調達情報は、例えば図5に示す購入条件を設定入力するウインドである調達情報ウインド43に基づいて設定される。具体的には、購入側端末コンピュータ3の購入側入力装置の入力操作により、図5に示すような調達情報ウインド43が購入側表示装置3bに表示される。そして、この調達情報ウインド43に設けられた購入条件の各項目の入力を促す複数のテキストボックス43aに入力することにより購入条件が設定され、設定された購入条件情報の一部が調達情報としてタグウインド42に開示される。

【0062】さらに、調達情報ウインド43には、公開見稿を実施する案内を送信する取引先(既に入札資格を有した見稿側入札側や過去に取引のある取引先など)を入力するテキストボックス43bが設けられている。すなわち、このテキストボックス43bに設定入力される見稿額入札側が、公開見稿の入札資格があるものとして入札可能条件設定手順38が認識して設定する。また、調達情報ウインド43には、テキストボックス43bに入力された取引先に公開見稿を実施する旨の案内として

メール配信するためのコマンドボタン43cが設けられている。そして、これら設定入力された購入条件情報は、購入条件情報データベース31に出力されて格納される。

【0063】そして、購入側のホームページ41およびメールを開拓した見稿額入札側は、調達情報タグウインド42に設けられたハイパーアリンク42aから、図6に示す公募リストのウインド43により、購入側の購入対象の購入物品および公開見稿を実施する期間である公募締切日の情報を確認する。この公募リストのウインド43に開示される情報は、上記図5に示す調達情報ウインド43にて入力された購入条件情報の一部である。なお、この公募リストのウインド43には、例えば各購入物品毎の詳細な内容、すなわち購入条件情報が盛り込まれた図7に示す公募品詳細ウインド45に対応した複数のハイパーアリンク44aが設けられている。

【0064】さらに、見稿額入札側は、図6に示す公募リストのウインド43から入札を希望する購入物品に対応したハイパーアリンク43aから図7に示す公募品詳細ウインド44により購入側の購入条件を認識する。そして、見稿額入札側は、入札資格を取得するために、公募品詳細ウインド45に設けられた応募シートにリンクするコマンドボタン45aを作成し、図8に示す入札側情報を入力するウインドである応募シートウインド45を入札側表示装置に表示させる。すなわち、図8に示す応募シートウインド45は、入札側情報の各項目の入力を促す複数のテキストボックス45aが設けられている。

【0065】そして、見稿額入札側は、図9に示す応募シートウインド46のテキストボックス46aに適宜入札側情報を入力して送信し、図9のフローチャートに示すように応募する(ステップS1)。この送信された入札側情報を、ネットワーク2を介してサーバ装置5の入札側情報取得手段22にて取得され、購入側端末コンピュータ3に配信されるとともに、入札側情報データベース32に出力されて格納される。この購入側端末コンピュータ3は、配信された入札側情報をとして、購入側表示装置3bにより図10に示すような入札側情報ウインド47の画面表示にて認識される。なお、入札側情報データベース32は、この図10に示すようなデータ構造で入札側情報を格納する。

【0066】この購入側端末コンピュータ3に記憶されて入札側情報を取得した購入側は、入札情報を確認し(ステップS2)、購入先として条件を満たしていないと判断した場合には、購入側入力装置の入力操作により、例えば今回は購入先の対象となり得ない旨の案内を通知する設定をする(ステップS3)。また、ステップS2において、購入先の対象となり得ると判断した場合には、入札側情報のより詳細な内容を取得するため問い合わせする内容の案内をメール配信する設定をする(ステップS4)。なお、ステップS3の断りの案内や

ステップS 4の問い合わせの案内のメール配信に代えて、入札側情報に基づいて電話にて連絡してもよい。

【0067】そして、問い合わせの案内をネットワーク2を介して入札側端末コンピュータ4で受信して取得した見積額入札側は、入札側入力装置の入力操作により、問い合わせに対する回答をメール配信する設定をする（ステップS 5）。このステップS 5の回答をネットワーク2を介して購入側端末コンピュータ3で受信して取得した購入側は、回答内容を検討する（ステップS 6）。

【0068】このステップS 6において、購入先として条件を満たしていないと判断した場合には、購入側入力装置の入力操作により、例えば今回は購入先の対象となり得ない旨の案内を通知する設定をする（ステップS 7）。また、ステップS 6において、購入先の対象となり得ると判断した場合には、公募対象である納入対象の物品のサンプル送付を要求する旨の案内をメール配信する設定をする（ステップS 8）。なお、ステップS 7の断りの案内やステップS 8のサンプル送付要求のメール記信に代えて、入札側情報に基づいて電話にて連絡してもよい。

【0069】ステップS 8のサンプル送付要求のメールをネットワーク2を介して入札側端末コンピュータ4で受信して取得した見積額入札側は、サンプルを送付する（ステップS 9）。そして、サンプルを取得した購入側は、サンプルを試験・評価する（ステップS 10）。なお、サンプルの試験・評価の際、サンプルに関して確認事項がある場合、適宜問い合わせする内容の案内をメール配信する設定をし（ステップS 11）、見積額入札側からの回答を適宜取得する（ステップS 12）。

【0070】そして、ステップS 10におけるサンプルの試験・評価の結果、良好でないと判断した場合には、見積額入札側に向けてその旨をメール配信する設定をする（ステップS 13）。この試験・評価の結果が良好でない旨のメールを受信した見積額入札側は、ステップS 9に進んで再び別のサンプルを送付するなどしてもよい。

【0071】また、ステップS 10で、試験・評価の結果が良好であると判断した場合には、見積額入札側に試作用商品の納品依頼のメール配信を設定する。この試作用商品の納品依頼のメールを受信した見積額入札側は、試作用商品を納品する（ステップS 14）。そして、試作用商品を取得した購入側は、例えば工場にて試作用商品を用いた試作や評価などを実施する（ステップS 15）。

【0072】このステップS 15において、購入側の工場における試作や評価の結果、良好でないと判断した場合には、見積額入札側に向けてその旨をメール配信する設定をする（ステップS 16）。この試験・評価の結果が良好でない旨のメールを受信した見積額入札側は、

ステップS 14に進んで再び別の試作用商品を納品するなどしてもよい。

【0073】また、ステップS 15において、購入側の工場における試作や評価の結果、良好であると判断した場合、見積額入札側に今後の取引に当たっての確認事項を確認したい旨のメール配信を設定し、相互通じ確認事項の確認を実施する（ステップS 17）。そして、購入側は、確認事項などを評価し（ステップS 18）、購入先として対象とならないと最終判断した場合には、その旨をメール配信する設定をする（ステップS 19）。

【0074】ステップS 18で購入先の対象となり得ると判断した場合には、その旨の設定をする。この設定入力により、サーバ装置5のID/パスワード作成手段23は、購入先の対象となり得る見積額入札側に対して固有のIDナンバおよびパスワードを作成する（ステップS 20）。そして、ID/パスワード作成手段23は、先に取得した入札側情報に照合付けして入札側情報データベースに格納させる。さらに、ID/パスワード作成手段23は、作成したIDナンバおよびパスワードを見積額入札側に送信させる。この送信されるIDナンバおよびパスワードを取得した見積額入札側は、公開見議の入札資格を取得する（ステップS 21）。

【0075】（公開見議における見積額の入札）次に、公開見議における見積額の入札に関する動作について図面を参照して説明する。図11は、公開見議ウインドの画面表示を示す説明図である。図12は、見積入札リストウインドの画面表示を示す説明図である。図13は、最新入札状況ウインドの画面表示を示す説明図である。図14は、入札順位リストウインドの画面表示を示す説明図である。図15は、入札順位グラフウインドの画面表示を示す説明図である。

【0076】入札資格を取得している見積額入札側は、購入側からの公開見議を実施する案内メールの受信や図3に示す購入側のホームページ4-1の開発により、公開見議が実施されることを認識する。そして、見積額入札側は、図6に示すホームページの調達情報のタグ4-1を選択し、図4に示す調達情報のタグウインド4-2を入札側端末コンピュータ4の入札側表示装置4-6に表示させる。この後、見積額入札側は、タグウインド4-2に設けられたIDナンバおよびパスワードを入力するテキストボックス4-2bに、既に取得しているIDナンバおよびパスワードを入力し、コマンドボタン4-2cの入力操作で公開見議にログインする。

【0077】このコマンドボタン4-2cの入力操作により、サーバ装置5のID/パスワード照合手段24は、既に入札側情報データベース3-2に格納された入札側情報と照合し、正しくIDナンバおよびパスワードが入力された正規の入札資格を有する見積額入札側か否かを判断する。そして、IDナンバおよびパスワードの正しい入力が認められない場合には、公開見議へのログインを

拒絶する。また、正規の見積額入札側であると判断した場合には、公開見積へのログインを許可する。

【0078】そして、見積額入札側の公開見積へのログインにより、図1-1に示す公開見積ウインド4-8が入札側端末コンピュータ4の入札側表示装置4-bに表示される。この公開見積ウインド4-8は、見積額入札側が入力操作により見積情報を設定入力するための入力ウインドで、図5に示す調達情報ウインド4-3で入力された購入条件情報の一部が開示されるとともに、入札の有無を設定するチェックボックス4-9aや見積額を入力するテキストボックス4-9bが設けられている。さらに、公開見積ウインド4-8には、入力した見積情報を確認するためのコマンドボタン4-9cが設けられている。なお、このコマンドボタン4-9cにリンクする入力した見積情報を確認するためのウインドには、見積情報を送信するコマンドボタンが設けられている。

【0079】この公開見積ウインド4-8で入力した見積情報を送信すると、サーバ装置5の見積情報取得手段2-5にて取得し、この取得した見積情報を順位情報データベース3-3へ出力されて格納される。なお、購入側端末コンピュータ3の購入側入力装置による見積情報の確認要求の入力操作により、順位情報データベース3-3に格納された見積情報は購入側表示装置3-bに表示可能である。

【0080】さらに、サーバ装置5の順位作成手段2-7は、見積情報取得手段2-5で取得した見積情報から、「IDナンバー」に基づいて入札側情報データベース3-2に格納されている入札側情報と照合して見積額入札側の固有の情報、例えば名称情報と見積額とを関連付けし、取得した見積額を比較して見積額入札側の見積額の順位を演算し、順位情報を作成する。なお、この作成された順位情報は、順位情報データベース3-3に出力されて格納される。また、順位作成手段2-7は、あらかじめ購入側が設定した順位開示の条件に基づいて、グラフを作成する。

【0081】すなわち、購入側は、購入条件情報をして、あらかじめ図5に示す調達情報ウインド4-3に購入条件を設定するとともに、図1-2に示すウエップブラウザによる表示画面である順位開示条件情報などの入札状況開示条件を入力するウインドとしての見積入札リストウインド4-9にに基づいて、設定入力する。すなわち、図1-2に示す見積入札リストウインド4-9は、調達情報ウインド4-3で入力された公開見積毎に入札状況開示条件を入力設定可能となっている。

【0082】具体的には、見積入札リストウインド4-9には、入札側端末コンピュータ4からの開示要求により、入力された見積情報を対する最新の入札状況を入札側表示装置4-bに表示させるか否かの順位開示条件情報を設定するチェックボックス4-9a、見積額の順位に関する表やグラフを表示させるか否かの順位開示条件情報を設定するチェックボックス4-9b、順位に基づくメッ

セージを案内通知手段3-0により表示させる条件を設定、すなわち購入先数設定手段3-6で設定する購入先の数を入力するテキストボックス4-9dや安全購入先数設定手段3-7で設定する購入先の数を入力する回示しないテキストボックス、公開見積の入れを打ち切る時間を入力するテキストボックス4-9dなど、入札状況開示条件を設定する項目が複数設けられている。なお、この見積入札リストウインド4-9には、図5に示す公開見積毎の詳細な情報を確認するために調達情報ウインド4-3を開くためのハイバーリンク4-9eが設けられている。そして、入力設定された入札状況開示条件情報は、購入条件情報データベース3-1に格納される。

【0083】このようにして、図1-2に示す見積入札リストウインド4-9に基づいて入力設定された入札状況開示条件により、順位作成手段2-7がグラフを作成し、順位情報データベース3-3に格納させる。そして、見積額を入力した見積額入札側は、入札側端末コンピュータ4の入札側入力装置の入力操作により、入札状況の開示要求をサーバ装置5が認取すると、順位開示手段2-8が購入条件情報データベース3-1に格納された入札状況開示条件情報に基づいて、順位情報データベース3-3に格納された順位情報の一部を入札側端末コンピュータ4に出力し、入札側表示装置4-bに表示させる制御をする。

【0084】この入札側表示装置4-bに表示される順位情報としては、例えば図1-3(A)に示すウエップブラウザによる表示画面で示される最新入札状況ウインド4-0、図1-4(B)に示すウエップブラウザによる表示画面で示される入札順位リストウインド5-1b、および、図1-5(B)に示すウエップブラウザによる表示画面で示される入札順位グラフウインド5-2bなどである。

【0085】図1-3(A)に示す最新入札状況ウインド5-0は、例えば図1-2に示す見積入札リストウインド4-9に設けられた「オン」のチェックボックス4-9aがチェックされて設定されることにより開示される。そして、この最新入札状況ウインド5-0には、案内通知手段3-0により最新入札状況ウインド5-0に表示するメッセージを表示するボックス5-0aが設けられている。

【0086】すなわち、サーバ装置5は、入札側端末コンピュータ4からの最新入札状況ウインド5-0の開示要求あるいは購入側端末コンピュータ3からの通知要求が合った場合、案内作成手段2-9により順位情報の見積額入札側の順位を認識して対応する案内として、例えば図1-3(B)に示す案内情報データベース3-4に格納された案内を選択する。そして、この選択した案内を、順位開示手段にて最新入札状況ウインド5-0を開示させる際に、案内通知手段3-0により最新入札状況ウインド5-0内に設けて通知させる処理をする。なお、この図1-3(A)は、メッセージ2が表示された例である。

【0087】また、図1-4(B)に示す入札順位リストウインド5-1bは、例えば図1-2に示す見積入札リスト

ウインドに設けられた「オン」のチェックボックスがチェックされて設定されることにより入札側端末コンピュータ4に出力されて開示される。この図14(B)に示す入札順位リストウインド51bは、開示要求があった見積額入札側の順位のみが認識できるように開示された例である。すなわち、順位開示手段28は、開示要求する見積額入札側の10ナンバに基づいて見積額入札側を判断し、その見積額入札側の名称のみが明らかとなった状態で開示され、他の見積額入札側がいずれの企業であるか分からないように開示する。なお、購入側端末コンピュータ3からの開示要求が合った場合には、図14(A)に示す入札順位リストウインド51aのように、すべての見積額入札側の順位が明らかとなるように開示される。さらに、図14(A)に示すように、全ての見積額入札側の入札された最新の見積額が表示されるようにしてよい。

【0088】さらに、図15(B)に示す入札順位グラフウインド52bは、例えば図12に示す見積入札リストウインドに設けられた図示しないグラフを開示するための「オン」のチェックボックスがチェックされて設定されることにより開示される。この図15(B)に示す入札順位リストウインド51a、51bの場合と同様に、開示要求があった見積額入札側の順位のみが認識できるように開示された例である。なお、購入側端末コンピュータ3からの開示要求が合った場合には、同様に図15(A)に示す入札順位グラフウインド52aのように、すべての見積額入札側の順位が明らかとなるように開示される。さらに、図15(A)に示すように、縦軸に見積額が表示されるようにしてよい。

【0089】このようにして、入札側端末コンピュータ4からの開示要求により、入札状況の一部の情報が適宜開示され、入札された見積額に対応した順位に応じて、案内が通知される。そして、公募締切から所定時間、例えば図12に示すテキストボックス49dに設定入力された公開見積の入札を打ち切る時間に到達したが否かをサーバ装置5が判断する。この入札締切時間に到達したことをサーバ装置5が認識すると、サーバ装置5は公開見積の見積額を入札する図11に示す公開見積ウインド48が入札側端末コンピュータ4で開けないように制御し、入札を打ち切る。

【0090】そして、公募締切により最終的に見積額が小さい順から購入先の数に対応した順位までの見積額入札側を購入先として、例えば「当社から購入します。」などのような購入先として決定した旨のメールを配信したり、購入先として選ばれなかった場合にはその旨のメールを配信するなどの設定をし、実際の購入のための手続きを進める。

【0091】(公開見積システムの効果) このように、上記一実施の形態では、物品情報開示手段25にて購入

物品に関する物品情報を含む購入条件情報を開示し、見積情報取得手段25にて見積額を提示する見積額入札側から入力される見積額に関する見積情報を取り得し、順位作成手段にて取得した見積情報の見積額を比較して見積額が小さい順番となる見積額入札側の順位に関する順位情報を作成する。そして、購入先数設定手段35にて見積額が最も小さい順番から見積額入札側を購入先とするために購入側が購入先の数を設定し、この設定した購入先の数に対応する順番の見積額より高い見積額の順番となる見積額入札側に対して、案内通知手段30により見積額の小さい見積情報の再入力を促す案内であるメッセージ2を通知する。

【0092】このため、見積額入札側は、最も安い見積額を知り得ることなく、さらに小さい見積額の見積情報の再入力を促す案内のみが単に通知され、どの程度小さい見積額に設定すればよいか判断できない。このことにより、見積額入札側としては可能な限り安い見積額の見積情報を再入力することとなり、最終的な落札時の見積額を低減することができる。

【0093】さらに、案内通知手段30により、購入先数設定手段35にて設定される購入先の数に対応する順番の見積額より小さく、かつ、購入先数設定手段35にて設定される購入先の数より少ない数を設定する安全購入先数設定手段37にて設定される購入先の数に対応する順番の見積額より高い見積額の順番となる見積額入札側に対して、購入先の対象外となるおそれがある旨の案内であるメッセージ1を通知する。このため、購入先の数に対応する順番の見積額よりも小さく、購入先の対象となり得る見積額入札側でも、メッセージ1の通知により今後の入札状況に応じて購入先の対象外となるおそれがあると認識することとなり、入札される見積額のさらなる低減を図ることができる。

【0094】そして、順位開示手段28により、順位作成手段27にて作成した順位情報を開示する。このため、見積額入札側は自己の見積額の順位を認識でき、特に購入先の数の境界近傍の順位の見積額入札側からさらに見積額が低い見積情報の再入力の活発化を期待でき、より見積額の低減を図ることができる。

【0095】また、順位開示手段28は、見積額入札側自身の自己の順位のみ開示する。このため、他の見積額入札側が不明で、開示される入札状況の情報が少ないもので、再入力される見積情報の見積額として、見積額入札側が可能な限り安い見積額を提示する傾向が強くなり、より見積額の低減を図ることができる。

【0096】そして、入札側情報取得手段22にて見積額入札側の購買物品の提供能力に関する情報を取得させ、この取得した入札側情報に基づいて取引として適切か否かを判断して、適切な取引先の対象となり得る見積額入札側からの見積情報のみを見積情報取得手段25にて取得するようにする。このため、例えば見積額が低く

ても購買物品の提供能力がない購入先から購買物品を購入することにより購買物品の確保ができなくなるなどの不都合を防止でき、安定した品質の購買物品を安定して確保することができる。

【00097】また、入札可能条件設定手段③にて設定される見積額入札側に対してのみ入札資格があるものとして物品情報表示手段⑤にて物品情報を表示する。このため、例えば入札側情報取得手段②にて取得した見積額入札側の購買物品の提供能力に関する情報などの入札側情報に基づいて、良好な購買物品を安定して安価に確保するための購入先の対象となり得る見積額入札側のみが入札資格を有するものとして設定されることとなり、安定した取引が容易に得られる。

【00098】そして、ネットワーク②を介して見積額入札側の入札側端末コンピュータ④をサーバ装置⑤に送受信可能に接続して公開見積システム①を構築して公開見積を実施する構成とする。このため、ネットワーク②の利用により、より安い見積額の取得が容易で、利便性が向上し、利用の拡大が容易に図れる。さらに、ネットワーク②を介して購入側の購入側端末コンピュータ⑧をサーバ装置⑤に送受信可能に接続して公開見積システム①を構築するので、購入側で購買条件情報や入札側情報などのデータ容量の大きいものをサーバ装置⑤に蓄積され、購入側端末コンピュータ⑧の負荷を低減できるとともに、購入側が複数の公開見積を実施することも可能で、利用のさらなる拡大が容易に図れる。

【00099】【実施形態の変形】なお、本発明は、上述した一実施の形態に限定されるものではなく、本発明の目的を達成できる範囲で以下に示される変形をも含むものである。

【0100】例えば、ネットワーク②を介して購入側端末コンピュータ③、入札側端末コンピュータ④およびサーバ装置⑤を接続して説明したが、購入側端末コンピュータ③にサーバ装置⑤の構成を設け、ネットワーク②を介して購入側端末コンピュータ③と入札側端末コンピュータ④とで情報を送受信させる構成としてもよい。さらに、ウェブブラウザを用いてインターネットにより情報を送受信して説明したが、インターネット用い、有線で接続して情報を送受信させてもよい。

【0101】また、サーバ装置⑤に各種構成②～⑧を設けて説明したが、購入側端末コンピュータ③や入札側端末コンピュータ④にそれぞれ構築させるプログラムとして作用させてもよい。

【0102】そして、安全購入先数設定手段③⑦を設けて説明したが、単に購入先数設定手段③⑥のみ設けて、メッセージ②のみ通知する構成としてもよい。

【0103】また、順位を開示して説明したが、上述したように順位を開示せずに単にメッセージのみを通知する構成としてもよい。

【0104】さらに、入札資格を判断して説明したが、

入札資格を付与する構成を省き、全ての見積額入札側が入札可能としてもよい。すなわち、入札側情報取得手段②②や入札可能条件設定手段③⑧を設けなくてもよい。

【0105】そして、見積額入札側が見積額を再入力できる回数について、上限を設けずに説明したが、例えば再入力できる回数を購入条件情報として購入側端末コンピュータ③で設定できる構成としてもよい。例えば、図12に示す見積額入札側リストに、再入力できる回数を設定するテキストボックスなどを設け、見積額取得手段で見積情報を取得した際に、その回数をカウントし、設定入力された回数を上回らなければ見積情報を取得できるようになるなどしてもよい。なお、この場合、入札回数を見積額入札側で確認できるようにしてもよい。

【0106】すなわち、複数回の見積情報を再入力により、開示される最新入札状況に基づいて、最新の最低見積額が見積額入札側で判断できる可能性がある。このことから、再入力できる上限回数を設定することにより、最低見積額が仮に判断できただとしても他の見積額入札側がさらに小さい見積額を入力する可能性があることから、再入力される見積額をさらに低減する効果が期待できる。

【0107】また、見積額入札側の開示要求により入札順位リストやグラフを開示する構成について説明したが、これらを開示せず、図13に示す最新入札状況ウィンドウのみを開示させる構成、さらには、図13に設けられたボック内に表示される案内のみを通知する構成とすることもできる。

【0108】その他、本発明の実施の形の具体的な構造および手順は、本発明の目的を達成できる範囲で他の構成に変更するなどしてもよい。

【0109】【発明の効果】本発明によれば、購買物品に関する物品情報を表示して見積額入札側から入力される見積額に関する見積情報を取得し、見積額が最も小さい順番から見積額入札側を購入先とする購入先の数に対応する順番の見積額より高い見積額の順番となる見積額入札側に対し、より小さい見積額の再入力を促す案内を通知するため、見積額入札側はどの程度小さい見積額に設定すればよいか判断できず、見積額入札側としては可能な限り安い見積額の見積情報を再入力することとなり、最終的な落札時の見積額の低減を図ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施の形態に係る公開見積システムの全体の概略構成を示すブロック図である。

【図2】同上一実施の形態における公開見積システムを構成するサーバ装置の概略構成を示すブロック図である。

【図3】同上一実施の形態における購入側のホームページのホームページの画面表示を示す説明図である。

【図4】同上一実施の形態における調達情報のタグウイ

ントの画面表示を示す説明図である。

【図5】同上→実施の形態における購入条件を設定入力する販売情報ウィンドの画面表示を示す説明図である。

【図6】同上→実施の形態における公募リストのウィンドの画面表示を示す説明図である。

【図7】同上→実施の形態における公募品詳細ウィンドの画面表示を示す説明図である。

【図8】同上→実施の形態における入札側情報を入力する公募シートウィンドの画面表示を示す説明図である。

【図9】同上→実施の形態における見積情報入札側に入札資格を付与する動作を示すフローチャートである。

【図10】同上→実施の形態における入札側情報をウィンドの画面表示を示す説明図である。

【図11】同上→実施の形態における公開見積ウィンドの画面表示を示す説明図である。

【図12】同上→実施の形態における見積入札リストウィンドの画面表示を示す説明図である。

【図13】同上→実施の形態における最新入札状況ウィンドの画面表示を示す説明図である。

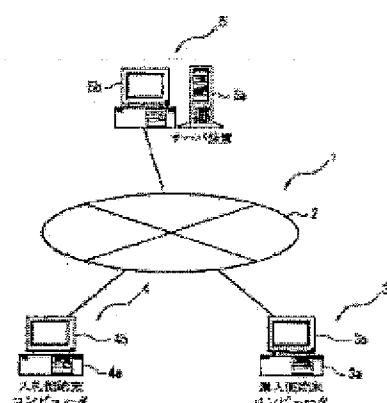
【図1-4】同上→実施の形態における入札順位リストウィンドの画面表示を示す説明図である。

【図1-5】同上→実施の形態における入札順位グラフウィンドの画面表示を示す説明図である。

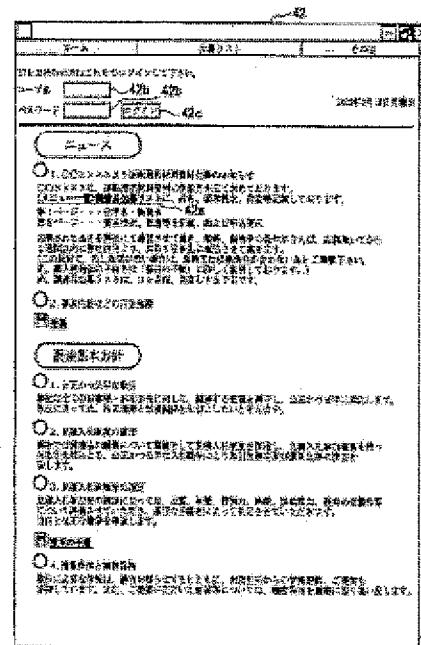
【符号の説明】

- 1 公開見積装置としても機能する公開見積システム
- 2 ネットワーク
- 3 端末装置としての購入側端末コンピュータ
- 4 端末装置としての入札側端末コンピュータ
- 5 公開見積装置としてのサーバ装置
- 6 入札側情報取得手段
- 7 物品情報開示手段
- 8 見積情報取得手段
- 9 順位作成手段
- 10 順位表示手段
- 11 実内通知手段
- 12 購入先数設定手段
- 13 安全購入先数設定手段
- 14 入札可能条件設定手段

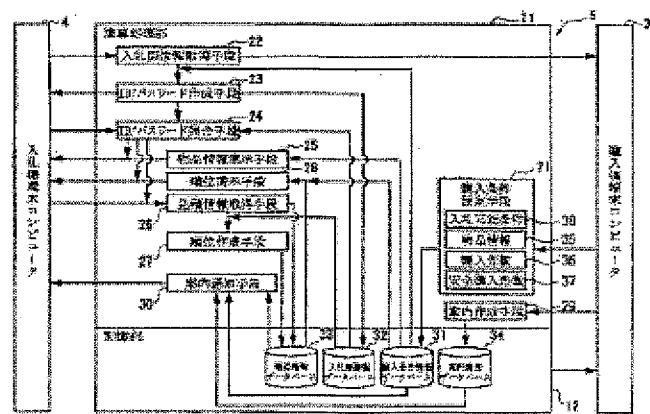
【図1】



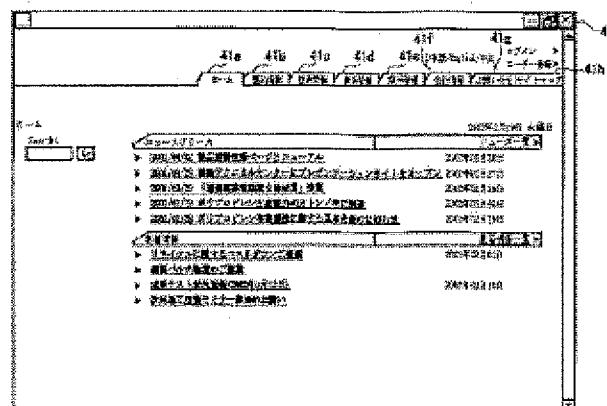
【図4】



[図2]



[圖 3]



〔図5〕

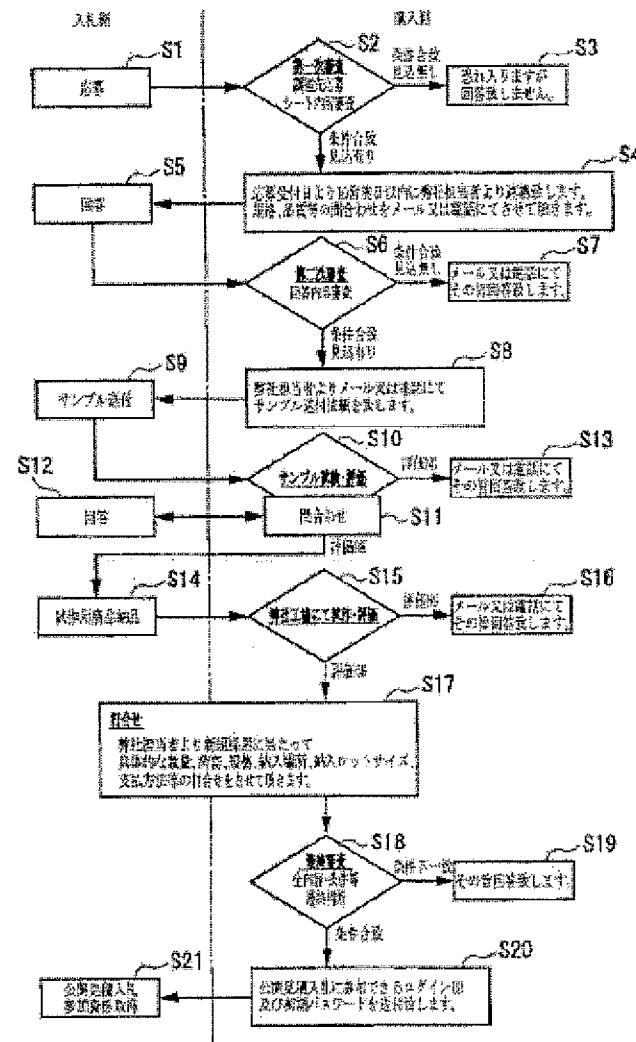
【四〇】

〔國々〕

[四〇一]

【圖 1-3】

[図9]



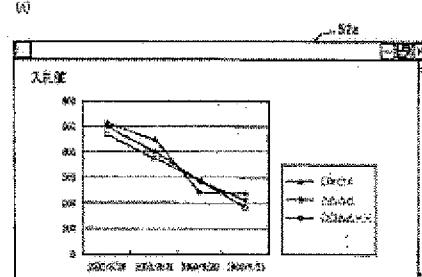
[圖 1 Q]

【圖 1-1】

[图 1-2]

[圖 1-4]

[圖 1-5]



品名	規格	数量	单價	金额
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				
51				
52				
53				
54				
55				
56				
57				
58				
59				
60				
61				
62				
63				
64				
65				
66				
67				
68				
69				
70				
71				
72				
73				
74				
75				
76				
77				
78				
79				
80				
81				
82				
83				
84				
85				
86				
87				
88				
89				
90				
91				
92				
93				
94				
95				
96				
97				
98				
99				
100				
101				
102				
103				
104				
105				
106				
107				
108				
109				
110				
111				
112				
113				
114				
115				
116				
117				
118				
119				
120				
121				
122				
123				
124				
125				
126				
127				
128				
129				
130				
131				
132				
133				
134				
135				
136				
137				
138				
139				
140				
141				
142				
143				
144				
145				
146				
147				
148				
149				
150				
151				
152				
153				
154				
155				
156				
157				
158				
159				
160				
161				
162				
163				
164				
165				
166				
167				
168				
169				
170				
171				
172				
173				
174				
175				
176				
177				
178				
179				
180				
181				
182				
183				
184				
185				
186				
187				
188				
189				
190				
191				
192				
193				
194				
195				
196				
197				
198				
199				
200				
201				
202				
203				
204				
205				
206				
207				
208				
209				
210				
211				
212				
213				
214				
215				
216				
217				
218				
219				
220				
221				
222				
223				
224				
225				
226				
227				
228				
229				
230				
231				
232				
233				
234				
235				
236				
237				
238				
239				
240				
241				
242				
243				
244				
245				
246				
247				
248				
249				
250				
251				
252				
253				
254				
255				
256				
257				
258				
259				
260				
261				
262				
263				
264				
265				
266				
267				
268				
269				
270				
271				
272				
273				
274				
275				
276				
277				
278				
279				
280				
281				
282				
283				
284				
285				
286				
287				
288				
289				
290				
291				
292				
293				
294				
295				
296				
297				
298				
299				
300				
301				
302				
303				
304				
305				
306				
307				
308				
309				
310				
311				
312				
313				
314				
315				
316				
317				
318				
319				
320				
321				
322				
323				
324				
325				
326				
327				
328				
329				
330				
331				
332				
333				
334				
335				
336				
337				
338				
339				
340				
341				
342				
343				
344				
345				
346				
347				
348				
349				
350				
351				
352				
353				
354				
355				
356				
357				
358				
359				
360				
361				
362				
363				
364				
365				
366				
367				
368				
369				
370				
371				
372				
373				
374				
375				
376				
377				
378				
379				
380				
381				
382				
383				
384				
385				
386				
387				
388				
389				
390				
391				
392				
393				
394				
395				
396				
397				
398				
399				
400				
401				
402				
403				
404				
405				
406				
407				
408				
409				
410				
411				
412				
413				
414				
415				
416				
417				
418				
419				
420				
421				
422				
423				
424				
425				
426				
427				
428				
429				
430				
431				
432				
433				
434				
435				
436			</td	

